

ルールを守って正しく横断 かもしかラリー大会



10月8日、中央公民館を主会場に「かもしかラリー大会」が開催され、かもしかクラブの年長児が参加しました。

歩行訓練では、保護者とペアになって実際に路上コースを歩きました。日頃かもしかクラブで練習しているとおり、道路では歩道または右側を歩き、踏切や横断歩道では「ストップの約束」を実践。しっかり立ち止まり、左右の安全を確かめてから道路を渡りました。

内輪差の体験では、車が曲がる際、後輪が描く円弧が前輪よりも内側になるという性質を学びました。実際に横断歩道に人形を置き、横断歩道の手前で待つと、内輪差でタイヤに巻き込まれてしまう可能性があること、大きな車ほど内輪差が大きくなることを子どもたち自身の目で確認し、横断歩道で青信号になるのを待つときは、一歩下がって待つという約束を再確認しました。

まちの人口

(10月末現在)

人口 **11,649人** (前月比-11人)

(男5,686人、女5,963人)

世帯数 **3,649世帯** (前月比-3世帯)

人の動き 出生5人 転入20人
(10月届出分) 死亡15人 転出21人

多機能型事業所「なかやま虹の丘」開所式



「なかやま虹の丘」の利用についてのご相談は下記まで。

社会福祉法人 愛泉会 ☎662-5588

10月25日、多機能型事業所「なかやま虹の丘」の開所式が行われ、佐藤町長をはじめ関係者がテープカットで開所を祝いました。

「なかやま虹の丘」は、障がい者の創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流等を図る場として平成23年7月に開所。5年目の今年は、今後ますます利用者の拡大が見込まれることから、施設の改修を行い、社会福祉法人 愛泉会が運営することになりました。

今後は、それぞれの能力にあった創作活動等を支援する「生活介護」と就労の機会を提供する「就労継続支援(B型)」の2つの機能を併せ持った多機能型事業所として、障がい者支援のますますの充実を図ります。

亀井ミサ子さん 県書道展で見事県知事賞を受賞



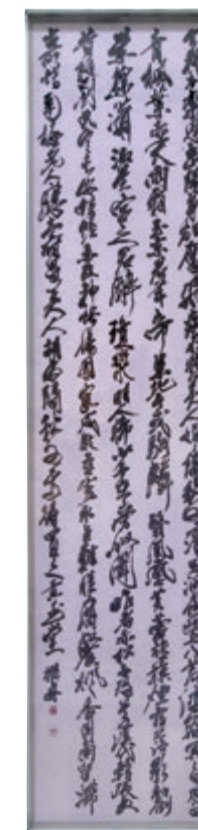
亀井ミサ子(櫻舟)さん。雅号の「櫻」は、地元達磨寺のお達磨の桜に由来しているそうです。

「第41回県総合書道展」において、亀井ミサ子さん(達磨寺)の漢字作品「杜甫詩」が県知事賞に選ばれました。

亀井さんが書道を始めたのは30代半ば。子どもの頃から書道が好きで、いつか習ってみたいという思いがあり、息子さんの書道教室の送迎がてらご自身も習い始めたそうです。仕事と家事の合間に練習を重ね、現在は週3回、ご自宅で書道教室を開いています。

亀井さんのこだわりは、書を作品として楽しみたいという思いから、まず始めに作品を飾る額、その次に額に合う半紙を決め、最後にどんな言葉を書くか考えることだそうです。

628点の作品の中から最高賞の県知事賞に選ばれたことについて、「これまでもこの書道展に出品して賞は様々ないただいたが、最高賞は初めて。これまで頑張ってきてよかった」と笑顔で話し、「これからはお弟子さんにも頑張ってもらいたい」と教え子の指導に意欲を見せていました。



←県知事賞を受賞した「杜甫詩」

有害鳥獣被害防止対策協議会を設置

10月13日、有害鳥獣被害防止対策協議会が設置され、第1回目の会議が開催されました。

この協議会は、今年、町内各所でイノシシ6件、クマ3件と多くの目撃情報があったことを受け、野生鳥獣による農作物や人的被害を防ぎ、地域住民の安全安心な生活環境を確保することを目的に設置されたもので、町内の猟友会会員や農業関係者で組織されています。

この日は町鳥獣被害防止計画案について協議されました。今後も必要に応じて招集され、対策を協議します。



初開催！プロバスケットB2リーグ公式戦



10月22日、23日の2日間、総合体育館でプロバスケットボールB2リーグ公式戦「パスラボ山形ワイヴァンズ対岩手ビッグブルズ」が開催されました。

パスラボ山形ワイヴァンズは山形県初のプロバスケットボールチームで、中山町での公式戦開催は今回が初めて。開会式では佐藤町長が「プロバスケットボール公式戦の舞台として中山町が選ばれたこと、間近でプロのプレーに触れられることは大変喜ばしい」と挨拶し、両チームの選手らを歓迎しました。

会場には、両日1000人以上の観客が訪れ、プロ選手の活躍に大興奮の様子でした。